

2016-07-01

ふじさわ・九条の会ニュース

NO45



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

—改憲、立憲政治の破壊を許すな！ 野党共闘の勝利を目指し—

7月10日の参議選挙で1/3以上の議席を確保しよう

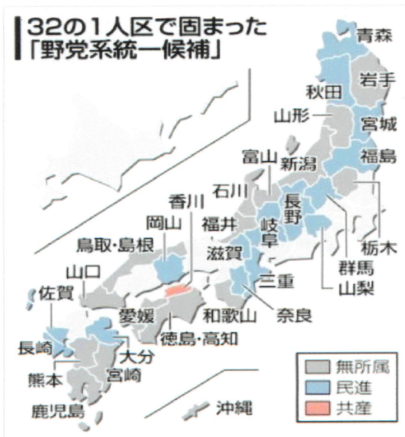


た願いがかなったものです。
**神奈川でも野党共闘を
前進させよう**

今度の選挙は日本が戦争する国に突き進むか、戦後70年間憲法9条の下で築いてきた平和国家の道を守るかの瀬戸際です。平和な日本を守る為に、神奈川選挙区でも、憲法擁護、戦争法反対で結束した野党共闘の4名の候補者を勝たせ、参議院で1/3以上の議席を

参議院選で、32の一人区で 野党共闘成立

確保させましょう。そして比例区についても、野党共闘の4党を前進させましょう。(小林)



—東京新聞より—

野党が手を組んで野党共闘を成立させ勝たねばならないと、昨年9月19日の国会前集会で求め

上の写真は、6月15日、横浜県民ホールで、野党共闘を成功させようと多くの市民が結集した時の写真です。安倍政権の改憲を阻止する為には何としても改憲反対の

<改憲派の危険な動き> 背筋も凍る「憲法改正誓いの儀式」

youtubeに「憲法改正誓いの儀式」が投稿されていた。そこには安倍首相も出席していた。儀式は、驚くべき内容で、衛藤晟一内閣総理大臣補佐官、長瀬甚遠元法務大臣、城内実外務副大臣、稲田朋美政調会長など自民党中枢の人々が「いよいよ、ほんとうに憲法を変える時がきた」「国民主権、基本的人権、平和主義の3つをなくさなければならない」「日本にとって一番大事なのは、個人では無く国体だ」「尖閣諸島を軍事利用しよう」などと叫んでいた。

<https://www.youtube.com/watch?v=h9x2n5CKhn8>

一改憲めぐり街頭宣伝合戦一

「憲法を守る市民」VS「日本会議」 藤沢サンパール広場で激突



一サンパール広場にやって来た日本会議のメンバー

4月13日「ふじさわ・九条の会」が、藤沢駅サンパール広場で、改憲阻止、戦争法廃止訴えて街頭宣伝をおこなっていたところ、後からやってきた改憲を進める「日本会議」のメンバーが「自分たちは金を払って道路使用許可書を貰っているから退け」と言う。当方「そんな必要はない、警察に聞いてみればわかる」と言うと、彼らは本当に電話を掛けて呼んだが、来た警官から「そんな必要はない」とたしなめられて「日本の警察は役に立たない」等と言って引き下がる一幕もあった。宣伝戦は、100人以上参加した市民の大コールによって、10人程度の「日本会議」側は圧倒されたかたちになった。

日本会議の主張に対する反論

宣伝戦の中で行われていた「日本会議」の主張に対する当方の反論は次のとおり。

①「諸外国は、憲法を度々変えているが日本は一度も変えていない、変えるべきだ」との主張に対し、こちらは、日本の明治憲法も一度も変えていない、憲法は度々変えるものではない。外国の事例を持ち出すのは不適切と反論。

② 9条押しつけ論に対しても、当時の日本の幣原首相がマッカーサーに進言して戦争放棄が採用されたものであること、象徴天皇制も天皇の自発的人間宣言に基づくものであること指摘。

③ 更に、憲法の民主的条項も鈴木安蔵氏らの憲法草案によるものであること等を指摘した。

サンパール広場での宣伝合戦

TBSが報道

4月13日の藤沢サンパール広場の「憲法を守る市民」VS「日本会議」との宣伝合戦の様子が、4月30日放映のTBSの報道特集で取り上げられた。



左の写真は、TVで放映された、市民代表と日本会議メンバーとが自衛隊を巡って路上論争をしたときの映像です。映像の字幕は、上から



日本会議～「独立国家が軍隊をもつのは当然」
市民代表～「自衛隊でいいの！」 (小林)

<投稿> 民主主義の原点

鶴沼在住 國枝 健

敗戦まもない昭和22年、教育基本法・学習指導要領が出来、5月3日日本国憲法が発足した。私はその年、北九州の石灰山の麓の小さな町で小学校に入学、川崎～鶴見と3回転校しながらも「民主主義の申し子」として育った。

中学で一般社会の科目で「民主主義は多数の意見で方向を決めるが、少数意見を尊重し、必ずこれを盛り込む！」と習い、目から鱗の思いで頭に刻んだ。主権在民！戦争は勝っても負けても不幸以外の何物でもない。「戦争法」、「集団的自衛権」、「抑止力」、「緊急事態要項」など絶対持ち出せないはず。

国会、県、市町村全ての議員は今一度、10分あれば読める短くて、解りやすい「日本国憲法」を中学の社会科の先生から教わり直してほしい。この2年間、私は怒り心頭！「憲法は権力者を暴走させないよう、縛るものでなければならぬ」ことを議員は今一度確認してほしいものだ。

ふじさわ・九条の会 11周年記念のつどい

4月23日「ふじさわ・九条の会」は11周年を迎え、湘南台市民シアターホールで記念の集いを開きました。参加者は約450名。集会で行われた ① 井上ひさしさんの三女、井上麻矢さんのお話 ② 朝倉優子さんのコーディネートによる「ママの会」の石井麻美さん、「SEALDs」の福田和香子さんと太田啓子弁護士のクロストークの感想をご紹介します。

ー井上麻矢さんのお話ー

むずしいことをやさしく

折原 美知子



「ひさしさんの想いは娘にどのように受け継がれているのだろうか」私はそんな期待と緊張感で舞台の袖にいた。予定時刻のほんの少し前に到着された麻矢さんは、私の硬さを一気にほぐすように、私の「どのようにご紹介すればいいですか」の質問に、「大丈夫です。あなたが思った通りに言って下さい。たりないところは自分で足しますから」とゆっくりと優しく答えて下さった。「こまつ」座の運営を引き継がれて、過密なお仕事に邁進しておられる麻矢さんの日々からは想像もできないほど柔らかく丁寧な言葉だった。講演の中で、お父様から「こまつ座の社長になってほしい」とたった一回ははっきりと言われた時の驚きが語られた。驚きつつも一番長く父親の側で作家としての姿を見てきた自分しかいないと心を決めた経緯に、私は胸が詰まった。芯に強いものを持っているのに、外に現れる雰囲気はしなやかで柔らかい麻矢さんに、

大きな業績を築かれた井上ひさしさんそのものを重ね合わせて感じることができた。

新鮮！ クロストーク

黒川 朝子



クロストークでは、新しい発想と行動力を、とても新鮮に感じ、力づけられました。70年代にウーマンリブの運動に励まされていた頃を思い出しました。男女雇用機会均等法・産休育休の変遷など、先達の闘いによってきたことが今は当たり前になっていることも多くありますが、女性たち、母親たちの生き辛さは変わっていない面も多々あります。制度と人々の意識にはかなりのずれがあります。福田さんの言われた『名前と顔を出して行動していくことが大事』というのは、勇気がいるけれども、力を持つものだと思います。女性にとって「生きる」「産み育てる」はいつの時代も平坦ではありませんが、沖縄の『命どう宝』という言葉が常に頭をよぎり、背中を押してくれます。

井上ひさしさんの

「ひょっこりひょうたん島」を演奏する 「ピアーチェカルテット」の皆さん



<ふじさわ・九条の会> 2016年度全体集会



参加者 38 人で 5 月 14 日に開催された全体集会は来賓の岡本棟守さんによる「1 万人突破の茅ヶ崎スタンディング」のお話から開始。憲法違反の戦争法の成立阻止と成立後は抗議と廃止の行動に終始した 2015 年の活動報告のあと、2016 年も引き続き戦争法廃止と署名活動の推進、夏の参院選で与党が勝つことになれば、明文改憲も行われてしまう、という危機感の下、今まで特定の政党支持を訴えてこなかった九条の会も、一步踏み込んで、九条を守り、戦争法に反対する野党を応援する行動に取り組むことを確認。それは「6.15 衆参選挙大作戦」に協力したり、野党応援の電話勝手連の立ち上げにつながりました。2000 万署名は「ふじさわ・九条の会」として 6 月末までに 4185 筆が集まりました。ご協力ありがとうございました。（島田）

<投稿>

「禎子の鶴」を折ったその手は・・

～オバマ大統領の広島訪問のテレビを見て

福永 洋子

現職米大統領として初めて被爆地の広島を訪れ、原爆資料館もわずか 10 分とは言え、見学した。人間の、科学の恐ろしさ・愚かさをいやと言うほど見せつけられたと思う。核廃絶を訴え「ノーベル平和賞」まで受けた大統領の行動を世界中の人々が注目していた。ニューヨークで 3 万人に及ぶ高校生と被爆者との対話を実現させてきた NGO の活動が米国の若者の世論を変え、オバマ氏を広島に導いた。事前に広島原爆について学び、平和に対して強い思いを抱い

ていたオバマ氏は、佐々木禎子さんの折り鶴に関心を持った。そのオバマ氏は心を込めて鶴をいくつか折った。その手は被爆者をしっかり抱き締めていた。それを見て私はきっと謝罪を心の中でしていたと信じた。恒久平和を希求する大統領です。

世界中の人々にも平和を願う「禎子の折り鶴」に関心を持ってもらいたい。私は鶴を作り飛ばし続ける。平和を尊ぶ憲法九条の大切さを訴えながら・・歴史は私たち一人ひとりが創るもの！



ーオバマ氏が折った折り鶴ー

＝告知板＝

<世話人会議>

- 7月29日（金）18:30～ 推進センター
- 8月29日（月）14:00～ 〃
- 9月29日（木）18:30～ 〃

<9の日行動>

- 7月9日（土）15:00～ サンパール広場
- 8月9日（火）15:00～ 小田急江の島駅
- 9月9日（金）15:00～ サンパール広場

<スタンディング行動>

- ★「抗議の火を絶やさない」
7月4日、11日 12:00～13:00
藤沢駅北口サンパール広場
- ★「F・STAP」
7月 第一水曜日と19日 15:00～16:00
藤沢駅北口サンパール広場
- ★「どこでもアクション」
7月1日と15日 18:00 藤沢駅南口2階
- ★「アベ政治を許さない 全国行動」
7月3日 13:00～14:00
藤沢駅北口サンパール広場

<不戦のちかい平和行動>

- 8月15日 16:00～18:00 サンパール広場